

# つるが港エリア お散歩マップ

金ヶ崎歩き

金ヶ崎周辺は、港町として栄えた敦賀港の古き良き面影を色濃く残す場所。港のシンボル赤レンガ倉庫や旧敦賀港線で使われたランプ小屋などレトロな雰囲気漂っています。

## ★10 敦賀鉄道資料館 (旧敦賀港駅舎)

欧亜国際連絡列車の発着駅として重要な位置を占めていた敦賀港駅舎を再現。港と鉄道の街として発展した貴重な資料や鉄道模型を展示しています。

## ★9 大谷吉継の供養塔

曹洞宗の寺院・永賞寺には、敦賀城主、大谷吉継の供養塔ともいわれる慶長14 (1609) 年造立の層塔があります。



## ★1 金ヶ崎緑地公園 ボードウォーク

緑地公園の海沿いに作られたボードウォークは市民の散歩コース。中心から海にせり出すポートデッキからは敦賀港を一望することができます。



## ★2 人道の港 敦賀ムゼウム

1920年にポーランド孤児、1940年には杉原千畝が発給した「命のビザ」を握りしめたユダヤ人難民が、敦賀港に上陸したことに関連する資料が展示されています。



## ★3 金崎宮

敦賀港を望む高台に建つ神社。境内は桜の名所として知られ、花換まつりは多くの人で賑わいます。また、恋愛成就の恋の宮として人気で、良縁を願う若者が多く訪れます。背後には中世の山城「金ヶ崎城」があり、数々の戦乱の舞台になっています。

## ★4 松尾芭蕉の碑

金ヶ崎を訪れた芭蕉が、この地で足利軍との戦に敗れた新田義顕の逸話を詠んだ句が刻まれています。江戸後期に建立された古い句碑です。「月いつこ鐘は沈るうみのそこ」

## ★5 旧敦賀港駅ランプ小屋

明治15年の鉄道開業時から残るかつての敦賀港駅で、列車の灯火用のカンテラの燃料を保管する倉庫として使われた、レンガ造りの小屋です。ランプ模型やパネル展示を見学できます。

## ★6 敦賀赤レンガ倉庫

県内でも有数のレンガ建築物で、国の登録有形文化財に登録されている港町敦賀を象徴する建物です。1905年に建てられた当時は石油貯蔵庫として使われました。現在は港のジオラマやレストランを備えた施設になりました。



## ★8 天満神社

天神さんと親まれ、毎年11月20に行われる「せんべい焼き」で有名。彦根・佐和山神社から譲り受け社殿は県指定文化財です。

## ★7 泉(しみず)のおしょうず

戦国時代に農民達に発見されて以来、生活を支える水場として600年以上沸き続ける名水です。

